

令和5年度 第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日時：令和5年11月22日（水）
午後6時30分

場所：JFEリサイクルプラザ苫小牧
2階 会議室

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 部長挨拶

4 議 題

(1) 報告事項

ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

- ① 「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」に関する
報告について

【資料 1】

イ 航空機事故関連について

- ① 令和5年度（上半期）航空機部品等落下事案について

【資料 2】

ウ 令和5年度要望活動結果について

【資料 3】

エ 新千歳空港における最近の動向について

- ① 令和5年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び
目的地外着陸について

【資料 4-1】

- ② 調整池の容量拡張について

【資料 4-2】

(2) 協議事項

ア 令和5・6年度再編関連訓練移転等交付金事業（案）について

【資料 5】

5 その他

千歳基地への訓練移転実施内容(結果)について

期 間	令和5年9月26日(火)～令和5年10月4日(水)			
訓 練 回 数	9月26日	8:10 ～ 9:30	太平洋側	米軍F-16×3機、自衛隊F-15×4機
		11:50 ～ 13:40	太平洋側	米軍F-16×2機、自衛隊F-15×4機
		16:05 ～ 17:55	太平洋側	米軍F-16×5機、自衛隊F-15×4機
	27日	7:35 ～ 9:20	太平洋側	米軍F-16×8機、自衛隊F-15×4機
		11:50 ～ 13:35	太平洋側	米軍F-16×8機、自衛隊F-15×4機
		16:05 ～ 18:05	太平洋側	米軍F-16×6機、自衛隊F-15×4機
	28日	7:30 ～ 9:45	太平洋側	米軍F-16×6機、自衛隊F-15×4機
		7:30 ～ 15:25	太平洋側	米軍F-16×2機
		12:05 ～ 13:35	太平洋側	米軍F-16×6機、自衛隊F-15×4機
		16:15 ～ 17:55	太平洋側	米軍F-16×2機、自衛隊F-15×4機
		16:15 ～ 20:10	太平洋側	米軍F-16×1機
	29日	7:35 ～ 9:15	太平洋側	米軍F-16×5機、自衛隊F-15×4機
		7:35 ～ 16:20	太平洋側	米軍F-16×2機
		11:40 ～ 13:25	太平洋側	米軍F-16×7機、自衛隊F-15×4機
	10月2日	7:40 ～ 9:25	太平洋側	米軍F-16×8機、自衛隊F-15×4機
		11:45 ～ 13:55	太平洋側	米軍F-16×8機、自衛隊F-15×4機
		16:00 ～ 18:00	太平洋側	米軍F-16×6機、自衛隊F-15×4機
	3日	7:30 ～ 9:40	太平洋側	米軍F-16×8機、自衛隊F-15×4機
		11:35 ～ 13:45	太平洋側	米軍F-16×8機、自衛隊F-15×4機
		16:00 ～ 17:40	太平洋側	米軍F-16×6機、自衛隊F-15×4機
4日	7:35 ～ 9:10	太平洋側	米軍F-16×8機、自衛隊F-15×4機	
	11:35 ～ 13:45	太平洋側	米軍F-16×3機、自衛隊F-15×4機	
<hr/>				
計 19 回		日本海側	0 回	
		太平洋側	19 回	※空対地射爆撃訓練は3日間実施
参 加 部 隊	米 軍： 第35戦闘航空団(三沢)、第18航空団(嘉手納) 航空自衛隊： 第2航空団(千歳)			
使 用 基 地	千歳基地			
演 練 項 目	戦闘機戦闘訓練、空対地射爆撃訓練等			
使用訓練空域	三沢東方空域、三沢対地射爆撃場			
参 加 規 模	タイプⅡ訓練 米 軍： F-16×12機及びE-3G×1機、人員約220名 航空自衛隊： F-15×8機			

<p>米 軍 の 移 動 関 係</p>	<p>9月20日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 21日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 25日：米軍の戦闘機(F-16×6機) 飛来 ：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 ：米軍の輸送機(C-12×2機) 到着、離陸 26日：米軍の戦闘機(F-16×6機) 飛来 ：米軍の輸送機(C-130×4機) 到着、離陸 ：米軍の輸送機(C-12×2機) 到着、離陸 27日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 ：米軍の輸送機(C-12×1機) 到着、離陸 ：米軍の早期警戒管制機(E-3G×1機) 飛来 28日：米軍の輸送機(C-12×2機) 到着、離陸 29日：米軍の輸送機(C-12×2機) 到着、離陸 10月4日：米軍の戦闘機(F-16×11機) 帰還 ：米軍の輸送機(C-130×4機) 到着、離陸 5日：米軍の戦闘機(F-16×1機) 帰還 ：米軍の輸送機(C-130×3機) 到着、離陸 6日：米軍の輸送機(C-130×2機) 到着、離陸 13日：米軍の早期警戒管制機(E-3G×1機) 帰還</p>
<p>米 軍 人 の 外 出</p>	<p>外出あり ※千歳市内において、民間車両へ正当な理由なく侵入するトラブルが発生</p>
<p>現 地 連 絡 本 部</p>	<p>設 置: 令和5年9月18日(月) 閉 所: 令和5年10月14日(土)</p>

訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について

【苫小牧市】

苦 情 0件

問い合わせ等 0件

【千歳市】

苦 情 12件

【内訳】

市長へのポスト（ホームページからの投稿フォーム）：8件

- ・騒音及び飛行時間帯について

電話：4件

- ・飛行情報を事前に公開すること
- ・飛行時間帯
- ・飛行回数が多い

問い合わせ等 1件

【内訳】

電話：1件

- ・臨時騒音測定場所での駐車について（何をしているのか）

【現地連絡本部】

苦 情 0件

問い合わせ等 4件

- ・事件、事故等の有無や航空機の帰還予定及び訓練概要について

訓練移転に伴う騒音測定結果について

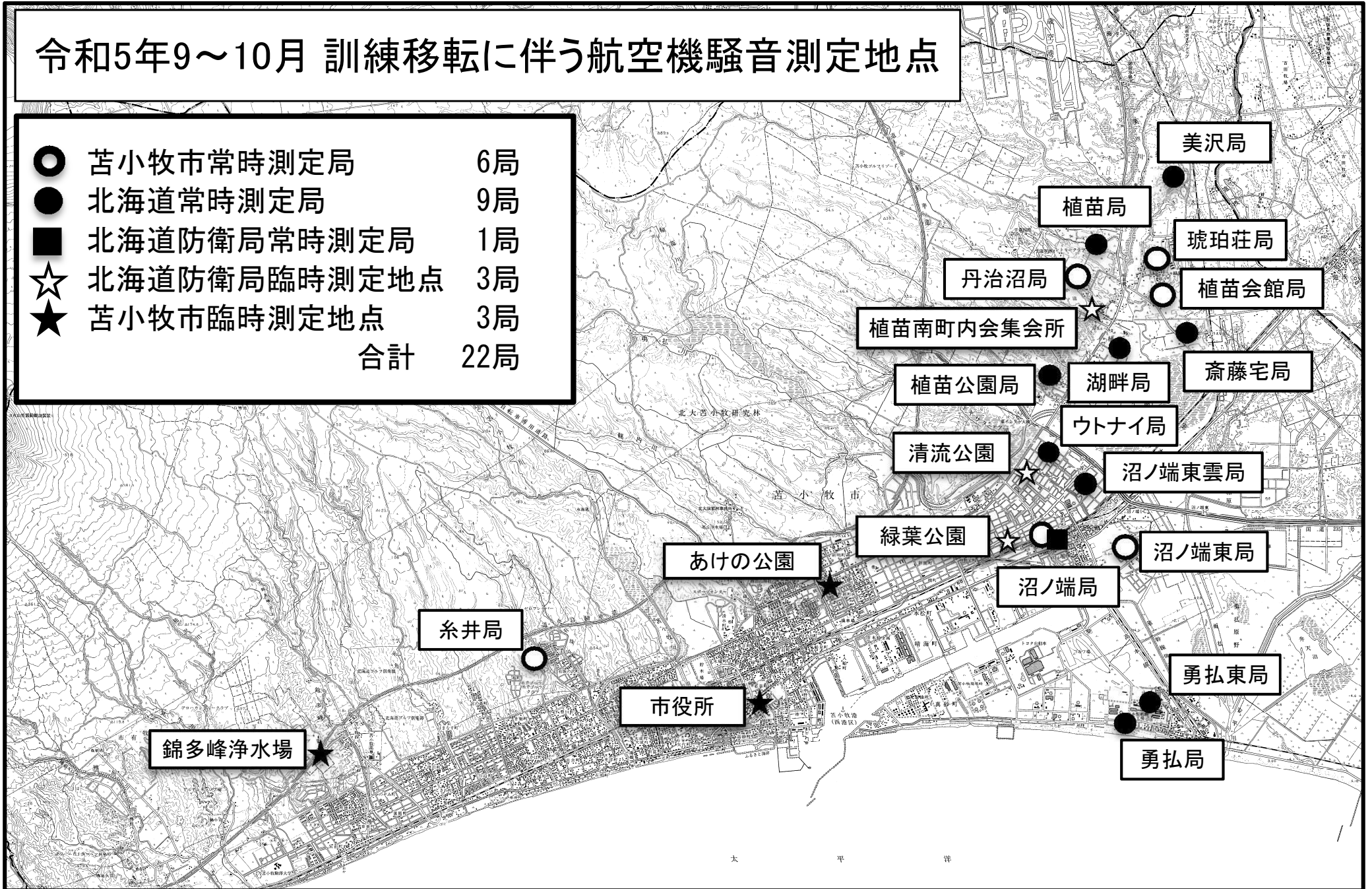
令和5年9～10月実施

資料

- 訓練移転に伴う騒音測定地点
- 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果
- 苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden
- 評価

令和5年9～10月 訓練移転に伴う航空機騒音測定地点

○	苫小牧市常時測定局	6局
●	北海道常時測定局	9局
■	北海道防衛局常時測定局	1局
☆	北海道防衛局臨時測定地点	3局
★	苫小牧市臨時測定地点	3局
	合計	22局



令和5年9～10月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果

単位:dB

【最高値】

【参考値】

		F-16(米軍)				F-15(自衛隊)				令和4年度(年間)		これまでの 訓練移転 最高値	
		苫小牧 側離陸	苫小牧 側着陸	千歳側 離陸	千歳側 着陸	苫小牧 側離陸	苫小牧 側着陸	千歳側 離陸	千歳側 着陸	最高値	平均値		
苫小牧市	臨時	あけの公園	71.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78
		市役所	68.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		錦多峰浄水場	70.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
	常時	植苗会館局	82.9	62.2	67.9	-	79.1	67.7	66.6	-	86	65	83
		丹治沼局	90.6	72.4	62.7	-	84.8	79.7	67.8	-	89	72	96
		琥珀荘局	80.8	62.4	71.7	-	77.9	68.4	70.0	-	93	66	85
		沼ノ端東局	87.1	77.5	-	73.2	84.5	83.6	-	-	89	68	90
		沼ノ端局	91.2	89.7	-	85.5	86.1	79.7	-	-	99	70	97
糸井	70.7	-	-	-	-	-	-	-	91	70	77		
北海道	常時	植苗局	87.1	73.8	72.9	-	84.4	77.2	-	-	87	73	94
		ウトナイ局	90.7	89.1	-	-	88.0	88.2	-	-	97	71	101
		美沢局	77.2	-	77.2	-	72.8	-	75.4	-	93	63	81
		湖畔局	89.9	75.3	-	-	86.2	83.1	-	-	92	71	94
		斉藤宅局	79.8	-	-	-	74.5	-	-	-	85	62	86
		植苗公園局	92.0	84.3	-	-	86.1	89.8	-	-	99	69	97
		勇払局	86.9	81.2	-	-	77.1	-	-	-	94	65	89
		沼ノ端東雲局	91.7	81.8	-	-	90.2	86.0	-	-	94	67	96
		勇払東局	85.4	76.5	-	-	82.4	-	-	-	86	65	87
防衛省	臨時	植苗南町内会	90.1	71.1	-	-	85.3	78.5	-	-	-	-	96
		清流公園	90.7	88.2	-	-	89.2	89.7	-	-	-	-	105
		緑葉公園	85.3	88.0	-	-	83.2	77.7	-	-	-	-	93
	常時	沼ノ端局	86.9	84.5	-	-	80.1	79.7	-	-	-	-	98

【備考】

- ① 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。
- ② 参考値の令和4年度(年間)の測定値には、自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。

苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden

単位: dB

		訓練期間中 9月25日～10月5日の 日Lden			R4年度の 日Lden最大値
苫 小 牧 市	植苗会館局	49	～	53	54
	丹治沼局	58	～	61	61
	琥珀荘局	50	～	55	55
	沼ノ端東局	52	～	58	57
	沼ノ端局	50	～	59	62
	糸井	23	～	42	53
北 海 道	植苗局	56	～	59	60
	ウトナイ局	50	～	59	59
	美沢局	46	～	50	52
	湖畔局	56	～	60	61
	斉藤宅局	45	～	47	49
	植苗公園局	52	～	58	62
	勇払局	47	～	54	54
	沼ノ端東雲局	54	～	60	58
	勇払東局	48	～	53	53

※ 訓練期間中のLden値は評価時間に達していないため、環境基準の評価は適用できません。

評 価

○騒音測定結果について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局における測定値について、令和 4 年度の当該局の最高値と比較して、同程度でした。

また、申し入れの判断となる 95dB 以上の騒音値はありませんでした。

※ 臨時測定点を含めた全局における最高値

・米 軍 機 F-16

植苗公園(道常時) : 92.0 dB (10月2日 午前訓練による離陸時)

・自衛隊機 F-15

沼ノ端東雲(道常時) : 90.2 dB (10月2日 午前訓練による離陸時)

○Lden 値について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局における日 Lden 値については、令和 4 年度の日最大値と比較して同程度でした。

今回の訓練移転における騒音については、騒音値及び日 Lden 値の比較から、第 2 航空団が行っている通常訓練の範囲内でありました。

令和5年10月23日
航空自衛隊千歳基地

令和5年度（上半期）航空機部品等落下について

令和5年4月1日から令和5年9月30日までの間、航空自衛隊千歳基地において発生した航空機の部品等落下について、下記のとおりお知らせします。

記

番号	発生等日時	発生場所	機種	落下部品等		
				品名等	大きさ	重さ
1	令和5年 4月20日(木) 11:24~13:19頃	千歳飛行場 ~浜松飛行場	T-400	リベット	直径:約7mm 厚さ:約2mm	約1g

(問い合わせ先)

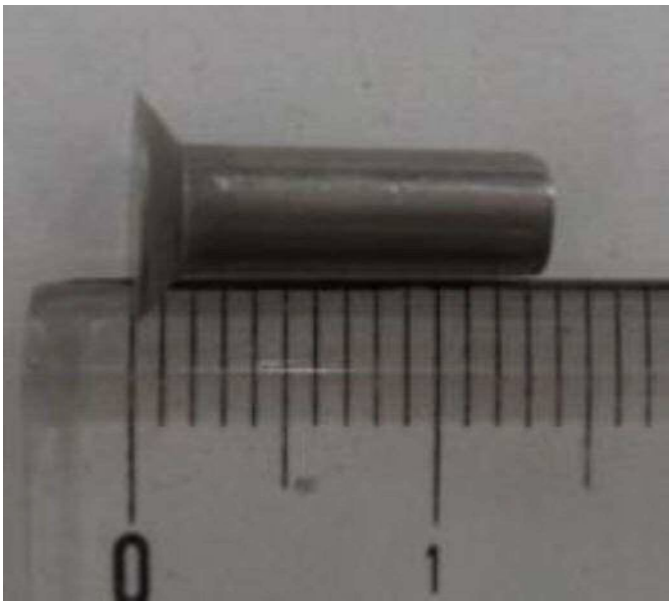
航空自衛隊千歳基地

第2航空団司令部監理部基地対策室

担当：津曲、下間

電話：0123-23-3101

(内線：2214)



令和5年度
苫小牧市航空機騒音対策協議会
要望活動報告書

令和5年10月25日

札幌・千歳

令和5年10月30日～31日

東京

1 日 程 令和5年10月25日(水) 札幌・千歳
令和5年10月30日(月)～31日(火) 東京
詳細は別紙1のとおり

2 要望活動者 苫小牧市航空機騒音対策協議会

会 長	丹羽 秀則	(札幌・千歳、東京)
副 会 長	松重 茂雄	(札幌・千歳、東京)
副 会 長	三海 幸彦	(札幌・千歳、東京)
委 員	丹治 有貴	(札幌・千歳、東京)
委 員	齋藤 謙吉	(札幌・千歳)
委 員	小倉 巖	(札幌・千歳)
委 員	工藤 幾子	(札幌・千歳)
委 員	竹田 秀泰	(札幌・千歳、東京)
委 員	牧田 俊之	(札幌・千歳)
委 員	米谷 一夫	(札幌・千歳)
事務局長	町田 雅人	(札幌・千歳、東京)
事務局員	柴田 健太郎	(札幌・千歳)
事務局員	伊藤 貴文	(札幌・千歳、東京)
事務局員	櫻井 理博	(札幌・千歳)
事務局員	仲林 はつみ	(札幌・千歳、東京)
事務局員	田中 惠実香	(札幌・千歳、東京)

3 要望活動

- (1) 要望先及び要望書宛先 別紙2のとおり
- (2) 要望先対応者 別紙3のとおり
- (3) 要望書 別紙4のとおり
- (4) 回答要旨 別紙5～7のとおり

4 要望活動の主な質問に対する回答要旨

別紙8のとおり

令和5年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動日程

10月25日(水) (札幌・千歳)	10:00	北海道防衛局
	11:15	(株)AIR DO
	14:00	航空自衛隊 千歳基地
	15:20	国土交通省 東京航空局 新千歳空港事務所 及び北海道エアポート(株)
10月30日(月) (東京)	13:15	堀井 学 内閣府副大臣
	14:15	国土交通省 航空局 東田 晃拓 大臣官房参事官(航空戦略)
	14:50	国土交通省 航空局 蔵持 京治 航空ネットワーク部長
	15:05	加藤 竜祥 国土交通大臣政務官
	16:05	国土交通省 東京航空局
10月31日(火) (東京)	9:00	山岡 達丸 衆議院議員
	9:35	橋本 聖子 参議院議員(藤原秘書対応)
	11:20	防衛省 航空幕僚監部 田崎 剛広 総務部長
	11:50	松本 尚 防衛大臣政務官
	14:30	全日本空輸(株)

令和5年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動

- 1 日 程 令和5年10月25日(水) 千歳・札幌
令和5年10月30日(月)～31日(火) 【2日間】 東京
- 2 要望活動者 千歳・札幌 委員10名、事務局6名
東京 委員5名、事務局5名(東京事務所長を含む)
- 3 要望先及び要望書宛先名

■国会議員(内閣府及び議員会館:千代田区永田町)

内閣府副大臣(衆議院議員)	堀 井 学 (国交省・防衛省分)
衆議院議員	山 岡 達 丸 (国交省・防衛省分)
参議院議員	橋 本 聖 子 (国交省・防衛省分)

■国土交通省

国土交通大臣	斉 藤 鉄 夫
国土交通副大臣	國 場 幸之助
国土交通副大臣	堂 故 茂
国土交通大臣政務官	こやり 隆 史
国土交通大臣政務官	石 橋 林太郎
国土交通大臣政務官	加 藤 竜 祥

◎航空局(千代田区霞が関2-1-3)

局 長	平 岡 成 哲
航空ネットワーク部長	蔵 持 京 治
大臣官房参事官(航空戦略)	東 田 晃 拓

◎東京航空局(千代田区九段南1-1-15)

局 長	今 井 和 哉
次 長	佐々木 敏 行
総務部長	渡 邊 浩
空港部長	鈴 木 賢 治
保安部長	植 木 隆 央
安全管理官	谷 口 羊 一
総務部次長	堀 内 信 孝
空港部次長	吉 野 康 之
総務部総務課長	武 田 宏 之
総務部地域航空事業課長	鈴 木 裕 基
空港部空港管理課長	上 野 健 一
空港部地域振興・環境調整官	前 原 直 也
空港部空港企画調整課長	豊 田 秀 和
空港部土木課長	青 木 工
空港部建築課長	遠 田 胤 暢
保安部技術保安企画調整課長	町 田 雅 史
保安部管制課長	杉 村 真
保安部管制技術課長	金 子 順

◎東京航空局 新千歳空港事務所(千歳市美々)

空 港 長	荒 上 功
-------	-------

■防衛省		騒音対策	防音
防衛大臣	木原 稔	○	○
防衛副大臣	宮澤 博行	○	○
防衛大臣政務官	三宅 伸吾	○	○
防衛大臣政務官	松本 尚	○	○
◎防衛政策局（新宿区市谷本村町5-1）			
防衛政策局長	加野 幸司	○	
防衛政策課長	吉野 幸治	○	
日米防衛協力課長	松尾 友彦	○	
運用政策課長	鈴木 雄智	○	
運用基盤課長	後藤 章文	○	
◎地方協力局（新宿区市谷本村町5-1）			
地方協力局長	大和 太郎	○	○
地方協力局次長	山野 徹	○	○
総務課長	村井 勝	○	○
地域社会協力総括課長	信太 正志	○	○
東日本協力課長	深和 岳人	○	○
◎航空幕僚監部（新宿区市谷本村町5-1）			
航空幕僚長	内倉 浩昭	○	
航空幕僚副長	小笠原 卓人	○	
総務部長	田崎 剛広	○	
総務部 総務課 基地対策室長	山本 仁	○	
運用支援・情報部長	高石 景太郎	○	
運用支援・情報部 運用支援課長	村上 博啓	○	
◎航空自衛隊第2航空団（千歳市平和）			
千歳基地司令	田中 信隆	○	
◎北海道防衛局（札幌市中央区大通西1-2）			
局長	宮崎 順	○	○
次長	藤井 真	○	○
企画部長	尾崎 嘉昭	○	○
企画部次長	中山 尚	○	○
企画部地方調整課長	佐々木 厚	○	○
企画部防音対策課長	千葉 伸之	○	○
企画部地方調整課 環境対策室長	山岡 孝次	○	○
企画部地方調整課 基地対策室長	米田 智之	○	○
管理部業務課長	池田 万洋	○	○
■北海道エアポート株式会社			
代表取締役 社長	蒲生 猛		
新千歳空港事業所 事業所長	原田 浩信		

令和5年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望先対応者

地元選出国會議員

自由民主党
自由民主党
立憲民主党

内閣府副大臣
参議院議員
衆議院議員

堀井 学
橋本 聖子
山岡 達丸

国土交通省

国土交通大臣政務官

加藤 竜祥

航空局 航空ネットワーク部
大臣官房参事官
航空戦略室
"
"
航空ネットワーク部 空港計画課
" 空港技術課
"
" 航空ネットワーク企画課
交通管制部 交通管制企画課

部長(表敬訪問)
(航空戦略担当)
地域振興・環境調整官
課長補佐(総括)
専門官
空港脱炭素化推進官
専門官
専門官
専門官
航空管制調査官

蔵持 京治
東田 晃拓
佐藤 衛
清水 陽介
神子島 裕一
大庭 靖貴
八津川 直樹
仲本 政貴
森泉 玲音
勝野 泰広

東京航空局 空港部
" 環境・地域振興室
" 土木課
" 建築課
保安部 技術保安企画調整課
" 航空事業安全監督官
安全管理官(安全統括室)
総務部 総務課

部長
課長補佐
課長補佐
課長補佐
課長
前任航空事業安全監督官
(室長)
課長

鈴木 賢治
黒木 伸也
木村 照幸
佐久間 亨
町田 雅史
東島 秀樹
谷口 羊一
武田 宏之

東京航空局 新千歳空港事務所
"
"
"
"
"
"

空港長
次長
総務部長
管制保安部長
運用調整課長
総務課長
総務課主査

荒上 功
櫻田 薫
祖父江 公昭
豎山 孝治
須藤 涉
佐藤 響
諏訪 美悠

防衛省

防衛大臣政務官

松本 尚

航空幕僚監部 総務部
"

部長(表敬訪問)
基地対策室長(表敬訪問)

田崎 剛広
山本 仁

北海道防衛局

企画部
"
" 地方調整課
" 地方調整課 基地対策室
" 地方調整課 環境対策室
" 防音対策課
管理部 業務課

局長(表敬訪問)
次長(表敬訪問)
部長
次長
課長
室長
室長
課長
課長

宮崎 順
藤井 真
尾崎 嘉昭
中山 尚
佐々木 厚
米田 智之
山岡 孝次
千葉 伸之
池田 万洋

航空自衛隊千歳基地 第2航空団
司令部 監理部

基地対策室長
基地対策専門官

津曲 栄治
下間 康貴

北海道エアポート(株)

新千歳空港事業所
" 地域共生部
" "
" 空港運用部
" "
" 業務管理課

事業所長
部長
課長
部長
次長
主任

原田 浩信
平池 暁
三村 行雄
徳中 利安
佐藤 泰
平田 真也

要 望 書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年10月25日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 丹羽秀則

理 由 書

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、コロナ禍で落ち込んでいた航空需要もコロナ前の水準近くまで回復しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加や運行時間の延長により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること

- 4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

- 6 北海道エアポート（株）の安定的な運営を支援し、新千歳空港における安全対策等の維持・強化を図ること

要 望 書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年10月25日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 丹羽秀則

理 由 書

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、コロナ禍で落ち込んでいた航空需要もコロナ前の水準近くまで回復しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加や運行時間の延長により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

貴社におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところではありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること

- 4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

要 望 書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」／

「防音対策事業」について、別記理由により

特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年10月25日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 丹羽秀則

理 由 書

千歳飛行場につきましては、航空自衛隊による通常訓練や政府専用機の訓練に加え、米軍再編に伴う訓練移転や他国との共同訓練などにより航空機騒音が増え、また、近年、自衛隊機による部品落下事故も繰り返し発生しております。

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっておりますが、飛行場周辺住民は、航空機騒音に悩まされるとともに、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 市街地上空での低空飛行を避けること
- 2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること
- 3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること
- 4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること
- 5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

理 由 書

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあって、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、在日米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること

要望事項に関する回答要旨（国土交通省及び北海道エアポート(株)）

要望事項	国土交通省 (航空局・東京航空局・新千歳空港事務所)	北海道エアポート(株)
1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること	<ul style="list-style-type: none"> 着陸時における飛行高度の引き上げや、離陸時における住宅地域を避けた飛行経路の設定等、現時点で可能な対策を最大限講じている。 一方、航空交通の安全確保の観点から、やむを得ず市街地上空を飛行することも考えられるため、ご理解いただきたい。 引き続き、空港運営会社や管制機関と連携して、航空会社に対する指導や監督を適切に実施してまいりたい。 	
2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること 特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと		<ul style="list-style-type: none"> 各航空会社は、運航の定時性を重要視しており、ダイヤパターンや機材繰りの変更等に鋭意取り組んでいる。 運航自粛時間の飛行について避けるよう、運航者会議等のあらゆる機会を通じ、協力要請を行ってまいりたい。
3 低騒音機種への切替えを促進すること	<ul style="list-style-type: none"> 航空機の低騒音化については、発生源対策が最も重要な手段と認識しており、これまでも積極的に取り組んでいる。 環境に配慮した新型低騒音機材をはじめとした機材投資を促進するため、航空会社の新規機材導入に係る税の減免措置による支援を行っている。 今後も航空会社に対し、低騒音機の導入を促してまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 着陸料騒音課金の継続運用により、引き続き、低騒音機種への切替促進を行ってまいりたい。
4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> 着陸時における飛行高度の引き上げや、離陸時における住宅地域を避けた飛行経路の設定等、可能な対策を最大限講じている。 今後、外国貨物機の運航が計画された場合には、騒音に配慮した運航となるよう空港運営会社と連携し、航空会社に対する指導や監督を適切に実施してまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 着陸料騒音課金の継続運用により、旅客機同様、低騒音機種への切替促進を行ってまいりたい。
5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること	<ul style="list-style-type: none"> 安全運航の確保については、航空業界の最重要課題と認識している。 国土交通省においては、安全な運航整備の確保に万全を期すため、安全監査を通じて、整備点検等の実施状況を確認している。 航空法に基づき報告された安全上のトラブルについては、要因分析を行い、再発防止策及び予防安全対策に取り組むとともに、情報の整理、公表を行っている。 今後とも、安全運航の確保に万全を期して、航空会社等に対する指導監督を適切に実施し、安全・安心に対する信頼を得られるように努めてまいりたい。 	

要望事項	国土交通省 (航空局・東京航空局・新千歳空港事務所)	北海道エアポート(株)
6 北海道エアポート(株)の安定的な運営を支援し、新千歳空港における安全対策等の維持・強化を図ること	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の長期化や航空需要の大幅な減少により、北海道エアポート(株)は大変厳しい状況に直面していたと承知している。 ・国土交通省としては、運営権対価分割金の支払いを猶予すること、運営権対価の追加支払いを求めることなく空港運営事業期間を3年間延長すること、空港施設の整備に対する無利子貸し付けを実施することなど、踏み込んだ支援を行ってきた。 ・北海道エアポート(株)が新千歳空港における安全対策等の維持、強化を継続できるよう、引き続き、実情をよく伺い、安定的な運営が可能となるよう対応してまいりたい。 	
※美沢川の水質問題について	<ul style="list-style-type: none"> ・有色 ADF について、新千歳空港においては調整池による希釈効果で、色が分からないぐらいのレベルになったかを確認した上で放流することとしている。 ・北海道エアポート(株)に対しても、これまでの BOD 放流基準とあわせ、しっかりモニタリングしながら、環境に影響を与えないように水質管理を徹底するよう、国として、適切に指導してまいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港における滑走路、誘導路、エプロン地区に使用している融雪剤は、塩化物系ではなく、蟻酸系を使用しており、塩分は含まれていない。 ・引き続き、使用の効率化と抑制を図ってまいりたい。 ・有色 ADF は今シーズンからの使用となるが、効率的な使用、冬季の安全運航について航空会社へ要請するとともに、排水管理については水質調査のモニタリングを実施し、周辺環境保全に最大限努力したい。

要望事項に関する回答要旨（防衛省）騒音軽減・安全対策

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊千歳基地 第2航空団	松本防衛大臣 政務官	航空幕僚監部
1 市街地上空での低空飛行を避けること	<ul style="list-style-type: none"> 騒音等による飛行場周辺への影響を最小限にするよう、深夜早朝や土日祝日の飛行は、可能な限り回避するよう配慮しているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行する場合があることをご理解いただきたい。 飛行ルートを守るよう配慮するとともに、自衛隊にも伝えていくが、場合によってはその限りでないことをご理解いただきたい。 安全等に関しては、訓練に参加する戦闘機等について、平素より定期整備、飛行前後の点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保しているところ。 要望内容については、本省及び千歳基地の所在部隊にしっかり伝えるとともに、事故等に係る情報は、自衛隊等と連携し苫小牧市を含む関係自治体等に、速やかに情報提供できるよう努めてまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 飛行訓練については、航空法を遵守し、実施しているところであり、他基地から飛行訓練等で来たパイロットに対しても、同様に教育指導を実施している。 今後も安全飛行を念頭に置きつつ、市街地上空の低空飛行を避けるよう努めてまいります。 		
2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること	<ul style="list-style-type: none"> 同上 	<ul style="list-style-type: none"> 天候等の状況により、安全確保のため、雲を避ける飛行をする場合があることをご理解いただきたい。 可能な限り、市街地上空を避けるよう飛行してまいりたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 気象条件や航空交通の関係でそのような状況が出てくるかもしれないが、それ以外は安全に支障のない範囲で、定められた経路を通るようにしてまいりたい。
3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること	<ul style="list-style-type: none"> 同上 	<ul style="list-style-type: none"> 深夜早朝の飛行訓練を原則として実施しないこととしているが、緊急発進、災害派遣等の任務や上級部隊が計画する演習等により、飛行する場合があることをご理解いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> どうしてもその時間で訓練をしなければならない場合もあるため、地元住民の皆様には予めしっかりとお伝えし、急に何か起こることのないように努めてまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> スクランブル等を含め、どうしても必要な場合もあるため、その点をご理解をいただきたい。

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊千歳基地 第2航空団	松本防衛大臣 政務官	航空幕僚監部
4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること	・ 同上	・ 通常の飛行訓練は計画していないが、上級部隊が計画する訓練、演習、航空祭及び他基地への展示飛行等の支援により飛行する場合がありますので、ご理解いただきたい。	・ どうしてもその時間で訓練をしなければならない場合もあるため、地元住民の皆様には予めしっかりとお伝えし、急に何か起こることのないように努めてまいりたい。	
5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること	・ 同上	・ 平素より、定期的な整備、飛行前後の点検を適切に実施するとともに、隊員教育を実施して事故防止に努めている。これまで同様、引き続き安全確保に努めてまいりたい。 ・ 万が一、事故等が発生した場合には、苫小牧市を含む関係自治体等への速やかな情報提供に努めてまいりたい。	・ 安全対策については、万全を期して、防衛省・自衛隊として常に訓練や出動等を行っており、万が一の時には、地元住民の皆様にはきちんと説明できるように対応してまいりたい。	
※沖縄の負担軽減について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日米両国は、訓練移転の期間中、沖縄の飛行場における米軍の訓練活動の影響について配慮することとしており、防衛省としても都度、米側に対する配慮要請を行ってきている。 ・ 嘉手納飛行場に所属する航空機の訓練移転については、訓練移転がなければ沖縄で実施されることとなる訓練時間も含め、米軍機の運用全体が削減されたと考えている。 ・ 騒音実態把握にも継続的に努めており、実態を踏まえて米軍に対する配慮の申入れや、住宅防音工事の助成などの各種政策を通じて、周辺住民の負担を可能な限り軽減できるよう努めるなど措置を講じている ・ 今後とも米軍に対し、嘉手納飛行場における騒音軽減がより一層図られるよう協力を求めるとともに、沖縄の負担軽減に努めてまいりたい。 			

要望事項に関する回答要旨（防衛省）防音対策

要望事項	北海道防衛局
<p>1 住宅防音助成については、対象区域を 70W まで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅防音工事については、環境基本法に基づき定められた航空機騒音に係る環境基準についての趣旨を踏まえ、飛行場周辺の 75W 以上の区域において、屋内で 60W 以下になるよう助成措置をとっている。 ・75W 未満区域の住宅防音の取扱いについては、住宅防音工事の今後のあり方に関する課題であり、全国の進捗状況を踏まえ、将来の検討課題と考えている。 ・全室を対象とした告示後の新築住宅について、これまで、外郭防音工事については、平成 14 年度から特に騒音の著しい 85W 以上の区域において、居人数に関わらず住宅の家屋全体を対象としている。 ・令和 3 年度からは、85W 以上の区域にある全ての居室の防音工事がなされている住宅について、防音建具機能復旧工事を行う際に、外郭防音工事を行うことができると改めている。 ・今後、外郭工事の範囲の拡大については、区域見直し後の第 1 種区域内に所在する住宅について、対応してまいりたい。 ・告示後に建築された住宅の防音工事については、現在、特に騒音の著しい 85W 以上の区域で建築年度の古い住宅を対象として助成措置を講じているところだが、今後、第 1 種区域等の見直しにあたっては、指定再告示方式により、新たな区域内の新たな告示日時点までに建設された住宅を全て対象としてまいりたいと考えている。

令和5年度要望活動結果について

(要望活動時の主な質問に対する回答要旨)

《新千歳空港事務所及び北海道エアポート(株)》

● 航空機の速度について

Q 機体を頑丈なものにすれば、旅客機も一定以上の速度が出せるようになり、遅延便が少しでも減るのではないか。

A 航空機には運用限界というものがあり、製造メーカーが決めているが、安全のためには一定のスピードを維持する必要があると理解している。また、そのスピードを超過してしまうと、不安全な状況があったと国土交通省に報告しなければならないルールとなっている。

(新千歳空港事務所回答)

● 低騒音機種について

Q まだ低騒音になる余地はあるのか。

A 機体の開発は各社で行っており、昔と比べ騒音値も下がっている状況だが、今後可能性としてはあると思う。

(新千歳空港事務所回答)

● 除雪事業について

Q 4月に国際交通安全学会の学会賞に選ばれたという報道があったが、どのような点が評価されたのか。

A 北海道エアポート(株)と地崎道路での受賞だったが、世界を代表する積雪量の新千歳空港で、離発着の便数も多い中、短時間で除雪の隊列を組んだということが非常に評価された。

(北海道エアポート(株)回答)

● 民航機の部品落下について

Q 主要7空港を取りまとめた数字で報告されており、空港ごとに数字を出した方が良いと思うがどのように考えているのか。

A 欠落が判明した空港からの報告であり、便数も羽田が1番多いため、どうしても羽田に集中してしまうことから、空港ごとに分けるような性質のものではないという判断で、まとめた形にしている。

(新千歳空港事務所回答)

Q 2022年度が前年度と比較し減っており、離発着数が増えている中での減少ということで、見る目が養われたのか、人手不足で作業負荷があり見きれていないのか、どのように受け止めているか。

A 人手不足の話もあるが、1番肝心なのは安全であるため、総合パッケージという形でチェックもしっかり行っている。国としても、各航空会社がきちんと行っているか、厳しく確認している。

(新千歳空港事務所回答)

● 管制塔について

Q 新しい管制塔を造ると新聞報道されていたが、場所や航空体系への影響は。

A 貯雪ピットと南側誘導路の間に少し空き地があり、その辺りに建設を予定している。防衛省が千歳飛行場の管制も行っているため、視認性の観点から、100mほどの高さになると聞いている。

(新千歳空港事務所回答)

● JR南伸について

Q ラピダスの関係もあると思うが、そこに絡めて、国に要望はできないのか。

A 北海道経済連合会や北海道商工会議所が毎年、政府予算要望で必ず入れており、強い声が挙がっていることもあるため、ラピダスの進出も関係して今後視野に入ってくるかと考えている。

(北海道エアポート(株)回答)

● LCC専用ターミナルについて

Q 各空港で設けてきているように思うが、新千歳空港の考え方は。

A 空港がどのように発展していくかで変わるが、今後、地元とも話し合いを行いながら検討していきたい。

(北海道エアポート(株)回答)

● 遅延便について

Q 羽田空港はすぐ飛行機が出ないという印象があるが、混雑し過ぎなのか、オペレーションが悪いのか、どのように考えているのか。

A 各航空会社のダイヤは、ドアが閉まってから離陸までにかかる時間も加味したものになっているため、すぐ遅延便に関わるというものではなく、他に色々な理由がある。航空会社によっては、余分にどこかの空港で留め置く時間を作り、遅延を吸収して最終便に間に合わせるという努力をしている会社もあり、情報交換をしながら対策・対応していくのが良いと考えている。

(新千歳空港事務所回答)

《国土交通省 航空局》

● 飛行高度について

Q 最近、民航機の離陸の際、機体が大きく見えて音もうるさいという話を聞くが、離陸時の高度に変更があったのか。

A 離陸時の高度に変更はないが、引き続きしっかり遵守するよう心がけて、各航空会社に対しても指導していきたい。

Q 定期的に、例えば今月は問題がないとか、何件違反しているとか、そういった公表はできないのか。質問の度に、問題ありませんとの回答で、実際に見るとかなり低い印象を受けるのだが。

A すぐ、こういったことができるという回答は難しいので、要望として承り、検討したい。

● 遅延便について

Q 飛び立つ時点で22時を超えている便は飛ばさないなど、何か考えていかなければならないと思うがいかがか。

A 全て遅延しても良いという思いはなく、最近の事例では福岡空港でJALを降ろさなかった事例もある。問題意識も当然あるが、機材繰りなどの部分も一定程度あるため、理解をいただきつつ、航空会社へも厳しく指導しながらやっていきたい。

● 有色ADFについて

Q 今年の冬から使用されると思うが、各種データを取り、これまでの説明のとおり効果があったという話をぜひとも聞かせていただきたい。

A 薬剤の使用料が減るのではないかなど、データのなところも含めて、できる限り丁寧に説明させていただく。また、これまでどおりBOD放流基準を遵守し、しっかりモニタリングしていく。

《国土交通省 東京航空局》

● Jアラートに関連する航空機への対応について

Q ミサイル発射などにより、Jアラートが警報として出された場合、航空機の対応はどのようにしているのか。

A まず、ミサイルが発射された情報を日本から世界に向けて発信した後、発射場所や落下場所についての情報が得られ次第、管制官などから航空機に向かって情報が発信されている。

● JR南伸について

Q 空港・国・道が関わってやっていかなければ駄目だと思うが、国では検討を行っているのか。

A 新千歳の機能強化の観点では、非常に重要な要素だと思っており、道庁や北海道エアポート(株)、地元関係者に話を伺いながら検討していく段階であるため、情報を共有しながら対応していきたい。

● 飛行高度について

Q 離陸時の高度がバラバラのように感じるが、どういう理由で高低差が出てくるのか説明してほしい。また、離陸時に何度で上昇するという基準はあるのか。

A 高度は変わっていないのでご理解願いたい。上昇の仕方は出発方式によって異なるが、航空路誌で各空港の出発方式は公示されている。

《防衛省 北海道防衛局》

● 米軍再編訓練移転について

Q この度の訓練では、従来と違い、早朝からかなり騒音レベルが高かったが、どういふふうに変ったのか。

A 防衛3文書及び防衛白書の中に、日米共同訓練をより一層進化させていくことが謳われており、より様々なケースを想定した訓練を実施していくということはあると思うが、防衛局としても地元配慮するよう部隊に求めている。

● 再編関連訓練移転等交付金について

Q 令和4年度から毎年下がってきており心配しているが、交付金自体も令和8年度末までのものであるため、その後についてはどのように把握しているか。

A 現状、まだ本省から何も話を聞いていないため答えられないが、地元からそのような話があったことは伝えていきたい。

● オスプレイについて

Q 米軍再編訓練は非常に細かく情報が出ていたのに対し、昨年11月に行われた日米共同訓練の統合演習では情報があまりなかったように思うが、情報提供できないのか。

A 米軍オスプレイについては、お知らせできる情報が入った場合には地元自治体に情報提供を行っているが、これからも同様に、情報が入手できた際には提供していきたい。

《防衛省 航空自衛隊千歳基地 第2航空団》

● 航空祭について

Q 航空祭のひと月前くらいから訓練が始まったと思うが、結構音が気になるということもあったので、市街地上空を飛んだりしたのかどうか聞きたい。

A 市街地の上はコースにしていらないが、基地周辺での飛行が多くなるため、騒音が出やすい傾向になっている。また、風向きによっても大きく感じることもあると思うが、今後も可能な限り、騒音軽減に努めていきたい。

● 政府専用機について

Q 着陸する時の高さがかなり低い時もあるが、高度は決まっていないのか。

A 着陸で侵入してくる時の高度は大体決められており、天候等の理由により低くなる場合もあるが、1番は安全を重視している。計器飛行方式では、必ず着陸前に高度や降下のタイミングについて指示されるため、それに沿って飛行している。

● 部品落下について

Q 発生件数をゼロにするために工夫していることがあれば紹介いただきたい。

A 過去の落下部品の情報なども参考に、写真を撮影して回覧し、落ちやすい部分を目でしっかり認識した上で、実際の整備では締め直したり確認ができるような教育と資料作成を行っている。

● 使用薬剤の処理について

Q 調整池がないと聞いたが、今後もそういった状況が続くのか。地下水の水質の評価など、何かしているのか。

A 水質調査は行っている。航空機の洗浄については、基本は水の勢いで塩を落とすのがメインとなるため、特別な洗剤を使うということはないが、滑走路の融雪剤については、使用量が少ないことから特に処理するような状況ではなく、車両のタンクに残った薬剤は十分に希釈した後、所定の場所にて地盤に浸透させている。

《株式会社 AIR DO》

● 遅延便について

Q 発生の原因や、今後の対応について伺いたい。

A 原因については、コロナ禍以降、乗客が急増し、空港での手荷物検査や地上業務の体制が追い付かなかったことが主な要因と認識している。対策については、混雑解消に向け、空港の管理会社による手荷物検査体制の強化や、地上業務の委託会社においても体制の強化に取り組んでいる。

● 深夜便への変更について

Q 最初から30枠の中に入れることは、会社として問題があるのか。

A 羽田空港においては、発着枠の制限がかなり強い状況であり、加えて元々計画されている深夜便もあるため、乗客の利便性も意識しながら現状の時間設定となっている。21時45分着の37便が特に遅れているということは認識しているため、より一層努力を続けていきたい。

● 羽田空港について

Q なかなか機体が駐機スポットから離れず、なぜすぐ出ないのかと思うが、そういった流れの悪さの遅延に影響しないのか。

A 現在、国土交通省において定時出発率が悪化しているところは認識しており、調査が始められている。弊社からは不具合による遅延のほか、羽田におけるスポットコントロール（飛べない状態の時に、駐機スポットに留まらせたまま順番待ちをさせるコントロール）を出発の遅延に繋がる原因として挙げさせてもらっている。

● 航空機の更新について

Q 新しい航空機に変わると、性能が良くなって少しスピードが上がって飛べるなどないのか。

A 2026年度の中で入れ替えが始められるよう検討を進めている最中であるが、機体のスピード自体にそれほど差はないものの、新造機に移ることで整備の信頼性が上がり、故障が少なくなる分、定時に出発できる機会は増えていくものと思っている。

《全日本空輸株式会社》

● 遅延便について

Q 発生の原因や、今後の対応について伺いたい。

A 原因については、天候事由が非常に多いということと、なかなか1つの理由に特定しがたい状況がある。対策としては、搭乗案内時のゾーン分けや、計画段階における機材繰り、予備の航空機や乗組員を準備しておくなど様々な策を講じている。試行錯誤しながらになるが、引き続き、解消に向けて努力していきたい。

Q 22時を超えて空港から飛び立つようなケースはフライトをやめるなど、対策は取れないのか。

A やめる、やめないで言うとやめることは可能であるが、離陸を取りやめれば、予約した乗客が空港に残ってしまうことになり、そこからホテルの確保などを考えると、基本的には目的地まで届けることを第一に考えている。

● 低騒音機種について

Q 今、どういった状況で機種の変更が進んでいるのか。

A 低騒音機については昨今、非常に増えてきており、新千歳では7～8割を超えている。新しい飛行機は騒音のみならず、環境面で燃費という観点からも非常に優れているため、極力、最新鋭の飛行機を主たる路線にしっかり投入したいと計画している。

● 飛行高度について

Q いつも、高さはある程度決まっているという回答をされるが、どうしても違った高さで飛行しているように見えるのだが。

A 基本的には管制との交信で、承認を得た高度や進入角度をもって着陸している。大きな差があるかと言うと、おそらく実際にはそんなにならないと思うが、風の状況などにより安全を確保する意味で、進入角度をそれなりに変えざるを得ない局面はあると思う。

● **株式会社AIR DOとの関係について**

Q 今はどういう関係になっているのか。

A パートナーキャリアということで、営業面でもお互いの座席を融通しあったり、色々な場面で協力させてもらっている。AIR DOは北海道に強いため、学ぶべきは学び、協力すべきは協力するというスタンスで、お互いにうまくやっていければと思っている。

● **有色ADFについて**

Q 色が付くことで、前より効率が良くなったり色々期待するところはあるが、どのように捉えているか。

A 全く同感で、当然期待をしている。飛行機に氷や雪が付着した時に与える空気の流れの変化は安全に直結するため、一定程度のデータが出てきてからしっかりと対処していきたいと考えている。

令和 5 年度上半期 新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸について

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的外着陸/ 引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
1	R05.04.13	国内	新千歳	花巻	JAL2831		○		引き返し	目的地が悪天候のため
2	R05.04.16	国内	新千歳	稚内	ANA4841		○		引き返し	目的地が悪天候のため
3	R05.04.16	国内	羽田	稚内	ANA571		○		目的外着陸	目的地が悪天候のため
4	R05.04.18	国内	新千歳	仙台	ANA1230	○			引き返し	整備作業が必要となったため
5	R05.04.18	国際	ワシントン (アメリカ)	羽田	ANA101			○	目的外着陸	給油のため
6	R05.04.26	国内	新千歳	中標津	ANA4885		○		引き返し	目的地が悪天候のため
7	R05.04.27	国際	ダラスフォートワース (アメリカ)	羽田	JAL11			○	目的外着陸	乗務員交代のため
8	R05.06.02	国内	新千歳	青森	JAL2809		○		引き返し	目的地が悪天候のため
9	R05.06.02	国内	新千歳	成田	APJ582		○		引き返し	目的地が悪天候のため
10	R05.06.02	国内	新千歳	成田	JJP114		○		引き返し	目的地が悪天候のため
11	R05.06.07	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
12	R05.06.09	国内	新千歳	中標津	ANA4885		○		引き返し	目的地が悪天候のため
13	R05.06.21	国内	羽田	釧路	JAL545		○		目的外着陸	目的地が悪天候のため
14	R05.06.28	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
15	R05.07.04	国内	釧路	関西空港	APJ126			○	目的外着陸	急患発生のため
16	R05.07.05	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
17	R05.07.06	国内	新千歳	利尻	ANA4929		○		引き返し	目的地が悪天候のため
18	R05.07.07	国際	アンカレッジ (アメリカ)	仁川 (韓国)	KAL94			○	目的外着陸	乗務員交代のため
19	R05.07.12	国内	羽田	函館	JAL585			○	目的外着陸	給油のため
20	R05.07.12	国内	新千歳	青森	JAL2803		○		引き返し	目的地が悪天候のため

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的外着陸/ 引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
21	R05.07.17	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
22	R05.07.26	国際	ジョンFケネディ (アメリカ)	羽田	JAL005			○	目的外着陸	乗務員交代及び給油のため
23	R05.08.01	国内	新千歳	羽田	ANA62		○		引き返し	目的地が悪天候のため
24	R05.08.05	国内	新千歳	羽田	JAL530			○	引き返し	急患発生のため
25	R05.08.09	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
26	R05.08.11	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
27	R05.08.17	国内	新千歳	釧路	ANA4873		○		引き返し	目的地が悪天候のため
28	R05.08.23	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
29	R05.09.08	国際	ワシントンダレス (アメリカ)	仁川 (韓国)	KAL094			○	目的外着陸	乗務員交代及び給油のため
30	R05.09.12	国内	静岡	丘珠	FDA171/9001		○		目的外着陸	目的地が悪天候のため
31	R05.09.22	国内	新千歳	羽田	SKY716	○			引き返し	システムに異常が発生したため
合計			国内 引き返し 21件 (機械不具合2、天候18、その他1)			目的地外着陸5件 (機械不具合0、天候3、その他2)				
			国際 引き返し 0件 (機械不具合0、天候 0、その他0)			目的地外着陸5件 (機械不具合0、天候0、その他5)				

北海道エアポート株式会社調べ

新千歳空港において豪雨時等のオーバーフロー対策及びBOD低減を確実にするため、調整池の貯水能力を向上させる必要があることから、新たな調整池の設置及び既設調整池の掘り増しにより、容量拡張を行います。

なお、放流にあたっては、北海道エアポート（株）が既設・新設調整池ともに水質（BOD、色度）をモニタリングしながら適切に放流を行います。

■ 想定工程

工程	令和5年				令和6年			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
内容	手続き	新設調整池工事期間			手続き	既設調整池工事期間		

■ 調整池位置図



(貯雪ピット)

令和5年度 再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）

（単位：千円）

事業名	総事業費	交付金			現額		
		①当初額 R5年4月	②変更後 R5年11月	②-① 増減			
植苗・美沢地区	星ヶ丘13号線改良舗装工事	20,735	20,000	20,000	0	20,000	
	防災倉庫整備事業	24,343	24,000	24,000	0	24,000	
						0	
	小計	45,078	44,000	44,000	0	44,000	38.9%
沼ノ端地区	沼ノ端地区児童クラブ備品整備事業	0	1,000	0	-1,000	0	
	沼ノ端小・中学校教育環境整備事業	2,688	2,900	2,680	-220	2,680	
	勇の原公園整備事業（事前調査・実施設計）	21,649	21,000	21,000	0	21,000	
	ウトナイ小学校備品整備事業	7,075	8,300	6,700	-1,600	6,700	
	小計	31,412	33,200	30,380	-2,820	30,380	26.8%
勇払地区	勇払パークゴルフ場用地取得事業	25,453	25,500	25,450	-50	25,450	
	小計	25,453	25,500	25,450	-50	25,450	22.4%
三地区共通	小中学校図書整備事業	4,714	4,400	4,400	0	4,400	
	小計	4,714	4,400	4,400	0	4,400	3.9%
共通	保健センター等医療機器整備事業（最終調整弁）	9,007		9,007	9,007	9,007	
	小計	9,007	0	9,007	9,007	9,007	8.0%
合計	115,664	107,100	113,237	6,137	113,237		

再編関連訓練移転等交付金

113,237千円（確定）

令和6年度 再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）

（単位：千円）

	事業名	交付金	
植苗・美沢地区	植苗ファミリー公園整備事業	4,700	
	植苗小中学校環境整備事業	4,900	
	植苗地区テレビ光ケーブル化事業（実施調査・設計）	11,000	
	小計	20,600	20.0%
沼ノ端地区	勇の原公園整備事業	43,500	
	（仮称）沼ノ端南14号公園整備事業	23,000	
	小計	66,500	64.6%
勇払地区	勇払小中学校環境整備事業	1,600	
	勇払総合福祉会館備品整備事業	1,300	
	勇武津資料館備品整備事業	4,000	
	小計	6,900	6.7%
三地区含む共通			
	小計	0	0.0%
共通	保健センター等医療機器整備事業（最終調整弁）	9,000	
	小計	9,000	8.7%
	合計	103,000	

再編関連訓練移転等交付金 103,000千円（見込み）
